組織現況 2020年7月31日現在

組合員数
26,689 人

出資金総額
97,905万円

一人当たりの出資額
36,683 円

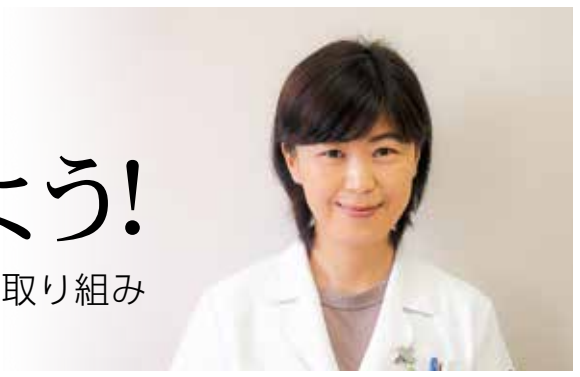
虹のまち とやま医療生協

2020年9月号　No.449

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8352 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com

毎月１回発行
定価 １部30円（組合員の購読料は出資金に含まれています）
発行　富山医療生活協同組合

「ありがとう」を合言葉に ともにウィズコロナをのり越えよう!



まだまだ続くと予測されるウィズコロナの状況下で、富山協立病院の現在の取り組みや今後の対応について、山本美和院長にお話を伺いました。

新型コロナウイルス禍のこれまでの病院の対応について、また、医療現場の職員の皆さんはどのようなことに心がけてお仕事に従事してこられましたか？

富山協立病院や診療所、各介護事業所ではいろいろな制限を設けて新型コロナウイルスへの対策と予防に努力を続けてきました。この間、患者さんや利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、多大なるご協力もいただき職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

職員は自らが感染し、人にうつすことの無いよう、医療従事者として自覚をもち普段の行動から制限して生活しているのでストレスもあります。発熱を伴った風邪症状の患者さんが来院されることもあり、感染の危険を感じながらの仕事は、精神的にも負担が大きいでしょう。富山協立病院では職員のメンタルをサポートする取り組みを継続して負担軽減に努めています。

小さなクリニックでは受診が困難な患者さんの場合でも、しっかりとした隔離対応をとって診ていこうと、職員が一丸となって感染対策を行っています。医療生協の病院として社会に貢献できているという誇りを持っています。

病院や職員さんを支援したいという組合員の皆さんによる、ビニール袋を利用した防護ガウンづくりの活動について、実際に使用されている現場での感想はどうですか？

最近の防護具の不足は深刻な状況ですが、組合員の皆さんが支援してくださる手作り防護ガウンは大変に助かっています。病院では透析や外来、往診などいろいろな現場で使っています。丁寧につくって下さっているガウンを使うたびに組合員さんに支えてもらっていると実感しています。

今後、新型コロナ感染予防で組合員の皆さんが注意しなければならない点や、患者さんや利用者の皆さんのための病院の取り組みについてお聞かせください。

これからも新型コロナウイルスとの闘いは続くと考えられます。第二波感染が広がってきている今、自分の身を守る行動をして頂きたいと思います。特にご高齢の方は重症化する危険が高いので、免疫力を高めるためにしっかり食べ、十分な睡眠を摂ることが大切です。

現在、実施しているリモート面会は、患者家族の皆さんの会いたいという気持ちと、職員の面会して頂きたいという気持ちから実現しました。今後も継続的に患者さんや利用者の方々の要望に応えていきます「できることはやっていきたい」と考えています。

最後に、医療生協の組合員の皆さんへメッセージをお願いします。

富山市の体制から見ると徐々にコロナの検査ができるようになってきています。四月から五月では症状があっても受け付けてもらえなかった状況もありましたが、現在は医師が判断すればＰＣＲ検査の指示ができるようになっています。このようなコロナ禍での対策改善は組合員の皆さんと共に声をあげていきます。そして必ず、みんなでこの難局をのり切りましょう。

富山協立病院整形外科 診療体制についてのお知らせ

福井清数医師の整形外科外来を、9月より開始いたします。

診療日は、毎月第4土曜日の午前となります。

※診療体制のお問合せは
富山協立病院　☎076-433-1077

内視鏡

先ごろ、高齢者医療を担う医師らでつくる日本老年医学会が提言を行い、どんな最期を迎えたいか、大事にしたい想いは何か、本人や家族にとってのより良い最期について、なるべく早く話し合うことを勧めている▼かってわが医療生協も同趣旨の論議から〝ライフデザインノート〟が作られ、自分の意思を記録しておこうとした事を思い出した。ノートの最後の八頁目に、どんな病院のどんな医師に診てもらいたいか、生命維持装置による延命を希望するかなど、記載欄がある。さて、病院名は「富山協立病院」と書こうか、医師名はどうする？迷ってしまう▼新型コロナで突然意識が失せ、人工肺「エクモ」に助けられた報告もある。目覚ましい医学の進歩が続く中で、命の選択を迫られるのはたとえ高齢者といえども悩むのは当然だ。ただはっきりと書いておきたいことがある。能力や遺伝子の「優良な者」を保護し、「不良な者」を排除する優生思想を持った医者には絶対に掛かりたくない▼医療・介護の現場は忙しすぎる。分秒刻みの診察の中で、その医師の人柄や医療に向かう思いを知ることは難しい。いま、コロナウイルスは医療の在り方や、人生の終わり方についても、ゆっくりと考え、話し合う時間を持つようにと言っているかのようだ。（T）

つながる平和の波
Peace Wave

8/6～8/9の「平和の波」行動の提起に応え、各地で、ヒバクシャ国際署名、街頭アピール行動などが行われました。

8/6 病院前でのスタンディング行動　組合員、職員46名が参加し平和をアピール。

8/9 CiC前、黙とう・署名行動

8/6 原水爆禁止世界大会 広島デー 参加者感想

今年はコロナ禍によりオンラインで広島、長崎原水爆禁止世界大会が開催されました。

8月6日の広島大会には、4月のニューヨークNPT再検討会議へ参加する予定だった富山民医連の代表者や、昨年の世界大会の参加者が出席し、核兵器廃絶に向けた平和運動への想いを新たにしました。

核廃絶への思いを込めて

「世界中に友人を作れば戦争はきっとなくなる」という言葉が身に染みてきました。争いは無知や偏見からきていると思います。

今回、オンライン会議という形での開催になりましたが、これはよい契機になるのではないかと思いました。誰でも、どこでも、関心を持ちさえすれば知ることができるからです。

「ピンチをチャンスに」強い志を持って行動を続け、危機感をもち再確認していくべきだと思いました。

（ふれあい豊田薬局　薬剤師）
市河　有由希

広島、長崎に原爆が投下されて七十五年が経ち、長い年月をかけ広島、長崎は復興しましたが、今もなお多くの方が苦しみ続けています。一発の核兵器が一瞬にしてまちを破壊し、罪のない数十万人の命が犠牲になったことを忘れず、次の世代に伝えていくことが大切だと感じました。また、核兵器の脅威は過去の話ではなくて、現在・未来に関わる問題であり、一日も早く核兵器から解放された平和な世界となるように、核兵器禁止条約の発効に向けて行動していきたいです。

（富山協立病院　看護師）國木　麗奈

組合員、職員でつなぐ、平和のメッセージ
「つながる動画」が富山民医連ホームページにアップされています。

広島と長崎に原爆が投下されて七十五年が経ち、被爆された人、体験された人がどんどん減っていく中で未だに日本が核兵器禁止条約を調印していないことは恥ずかしい事だと思います。メガバンクを含む銀行が核兵器製造企業への投資や融資を自制するなど大量破壊兵器の時代が終わりをむかえていると感じました。

今年はコロナ禍で、例年のようにできない活動も多くありますが、今できることを小さなことでも行い続けたいと思います。コロナ収束を各国が力を入れて行っている様に、核兵器が世界からなくなり二度と生まれないようにしてもらいたいです。

（富山協立病院　看護師）
上野　歩

20年度 第二回理事会報告

七月二十五日（土）サンフォルテ三〇七号会議室において定数二十六名中二十五名の出席で第二回理事会を開催しました。

【主な内容】

①情勢と対応の報告を受け、新型コロナウイルス対応などについて意見交換しました。

②六月の事業概況の報告を受け意見交換しました。

③事業課題について報告を受け論議しました。

④専門委員会の方針提起を受け協議しました。

⑤秋の生協強化月間について協議を行いました。新型コロナウイルス禍における組合員活動のあり方について話しあいました。

たすけっとクラブ通信 No.81

となみ野支部は、砺波市、小矢部市、南砺市の広範囲にわたります。190 名の組合員で立ち上げたのが 2015 年 6 月でした。支部設立 2 か月前に本部からたすけっとの依頼があり、砺波市在住の方ということで協力者として登録していた私がお手伝いしていました。

支部長＆コーディネーターとして、まず、組合員を増やしながらたすけっとの協力を呼びかけ、今現在組合員 276 名、協力者 21 名となりました。利用者さんはほとんどが砺波市周辺の方のため、必然的に砺波や井波の協力者さんにお願いすることになります。現在は継続の方 2 名、その他草むしりや、掃除など毎年定期的に依頼があります。中には、市の地域包括支援センターを経由して、居宅支援のケアマネさんから終末医療の手伝い（おむつ交換など）や口腔ケアをやってもらえないかとか、民生委員さんから一人暮らしの方で毎日同じ人に夕食を作ってもらえないかなどボランティアでは対応が難しい依頼もあり、お断りすることもありました。

このたすけっとクラブの活動を振り返ってみると、高齢者がいかに話し相手を求めているかつくづく感じます。コロナ禍でそれがますます困難になっていく今、何ができるのか模索中です。利用者さんの「ありがとう、たすけっとに頼んでよかった」の一言を力にして。

となみ野支部たすけっとクラブコーディネーター　吉田 とみ子

ご利用、協力者登録のお問い合わせは
「たすけっとクラブ」☎076－441－8354まで

「いのちの相談所」

開設のお知らせ

全日本民主医療機関連合会が提唱する「いのちの相談所」の取り組みに、富山医療生活協同組合は賛同し協同で取り組んでいきます。

コロナ禍の状況において、くらしや健康、医療や介護、子育てや教育など、困りごとを抱えている方はいらっしゃいませんか？

富山医療生協では、県下三十八支部の支部長さんや協力組合員の皆さんが案内し、富山協立病院や診療所、介護事業所などが受付窓口となり、ご相談にのっています。どんな些細なことでも構いません、ひとりで悩んでいないで…ぜひご相談ください。

まちづくり委員会

今でも地域で生きているはずです、
みんなで助け合う
〝やさしいおせっかい〟

協力組合員さんは
“白いポスター”が目印です

主な受付窓口

- 富山医療生活協同組合　☎076-441-8351
- 富山協立病院　☎076-433-1077
- 富山診療所　☎076-420-0367
- 水橋診療所　☎076-479-1414
- ふれあい新湊薬局　☎0766-83-7671
- 富山県民主医療機関連合会　☎076-444-5651

組合員のひろば

クロスワードパズル七月号の解答ハガキより

「あっ　飲んでない」
富山市長岡新　本島　京子さん

「マスク熱中症用にご用心！」に目がいきました。昨年熱中症になったので、今年はなりたくないと思い、切り取り目のつく所に貼り付けておきました。本当に水分ってあまり飲まなくなるのです。気がつくと「あっ、飲んでない」って思うくらい。ヘルパーさんに言われてやっと飲む感じです。わかっているつもりでもダメですね、一人では…。

きずなの行事に楽しく参加
富山市柳町　柴田　静枝さん

私は柳町きずなに参加させてもらってます。笑いヨガ、遊書、お食事（自由です）、他にも一年を通じていろいろな行事が行われています。ご近所の方、また遠くても行きたい方をお誘いし、本当に楽しく参加させていただいています。家の中におられる方、ぜひお外に出ましょう（コロナがなくなったらね）。

みなが自省して行動を
富山市蓮町　中村　和子さん

内視鏡を読み、新型コロナの人類への影響と「幸運に生き残った先祖」の子孫である私たち。わたしは自分さえよければの考えを捨てて、やはりみなが自省して行動するのが賢明だと思う。

利用者さんの
顔見られず残念
富山市四方江代町　鍛冶　律子さん

ボランティアで月二回ひまわりさんに行っていたのですが、新型コロナウイルスのため、ここ四ヶ月ほど利用者さんの顔を見られず残念です。きっと待っておられると思います。お互いあとしばらくの辛抱だと思っております。

もうひとふんばり
富山市上袋　石黒　孝子さん

市委託の学童保育で、五〇～七〇代六人で当番制（一日三人）で支援員として対応しています。「最近、体力なくなってきた…」と感じることもあり「握力測定」をやったところ、二十三kg～二十九kgの枠内が六人の現状。安心して暮らせる高齢者の目安は「十八kg以上」というとみんな一安心。

「もうひとふんばりできそうね」と自信にもつながった。

早めにインフルエンザ予防接種を
富山市北代四区　門口　靖子さん

協立病院に小児科はなくなりましたが、インフルエンザの予防接種時期には子どもも接種できるので親子で受けに行っています。今年は同時期にコロナも流行りそうとニュースで伝えられているため、なるべく早めに接種して予防に備えなければなと思っています。早くコロナが終息しますように…。

無料法律相談のご案内
西山貞義弁護士
（富山中央法律事務所）
時間は午後２時～４時
・９月17日（木）
・10月22日（木）
・11月19日（木）
予約してください
場所　富山協立病院地域連携室
◎お申込・地域連携室
☎076－444－5708

集まれ輝く未来のチカラ！
★★★★★★★★★★★★★★★★★
奨学生募集
あなたの夢を応援します
【対象者】
医学生、薬学生、看護学生、介護学生
【貸与額】
医学生：7万円/月(1～4年)、10万円/月(5～6年)
薬学生：5万円/月(1～4年)、7万円/月(5～6年)
看護学生：5万円/月(全学年)
介護学生：5万円/月(全学年)
※返済免除制度あり。お気軽にお問い合わせください。（詳細はホームページをご覧ください）
※応募時期、学年は問いません。随時受け付けております。
お問合せは右記まで　富山協立病院　学生担当／橋本・金崎　☎076-433-1077　E-mail:igakusei@toyama-hcoop.com

クロスワードパズル

【問題】

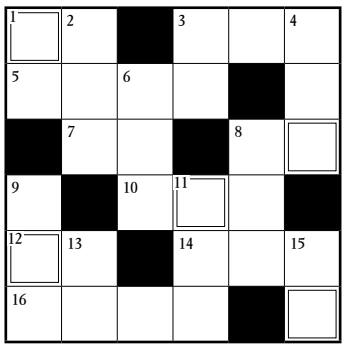
カギを解き二重枠の文字を並べてできる言葉を答えましょう。

★ **たてのカギ** ★

①行く手には高い――
②歌はからっきしダメ
③腐っても――
④ジェラシー
⑥――の馬鹿力
⑧ジャンケンの引き分け
⑨のぞみ。――を胸に抱く
⑪朝遅くまで起きない
⑬千円で――が来る
⑮音読みと――読み

★ **よこのカギ** ★

①立てたり泥を塗ったり
③青年よ――を抱け
⑤言い訳。――無用
⑦都道府県の長
⑧飛ぶ鳥――を濁さず
⑩時と――による
⑫投稿したが――になった
⑭開国の対
⑯瓜の種。――顔



転居先を必ず連絡して下さい。
住所・電話番号の変更や家族の変更がありましたら、生協本部まで連絡下さい。

【応募方法】

パズルの解答・住所・氏名・年齢と、虹のまちの紙面や医療生協へのご意見・ご要望などがありましたら併せて明記の上ハガキ、又は富山医療生協ホームページ（一面右上に記載）の「お問合せ」メールにてご応募下さい。

尚、虹のまちに掲載させて頂く事がありますのでご了承下さい。

【あて先】

〒九三一－八五〇一富山市豊田町一－一－八　富山医療生協「虹のまち」パズル係

【賞品】

正解者の中から十名の方に五百円分の図書カードを贈呈

【しめきり】

九月末日の消印有効

【七月号の解答】

ヤマビラキ

ア	シ	■	ウ	カ	イ
キ	ヤ	ク	マ	■	シ
■	ツ	ラ	■	カ	ヤ
ビ	■	シ	ツ	イ	■
サ	カ	■	ウ	シ	ロ
イ	ツ	ト	キ	■	ン

応募　９２通
正解　８９通

【七月号の当選者10名】　敬称略

赤羽　久忠（富山市古志町）
浅野　悦子（射水市太閤山）
石倉　敬子（富山市水橋高志園町）
酒井真奈美（富山市石坂）
柴田　静枝（富山市柳町）
長瀬　安治（富山市八日町）
中谷裕美子（氷見市岩瀬）
畑山　祥子（富山市上赤江町）
幅口三枝子（富山市松若町）
三浦　裕子（富山市上飯野新町）

おめでとうございます

※賞品の発送は月末になります。

介護事業所も猛暑こもマケズ コロナこもマケズ 頑張っています！ part Ⅱ

ひまわり

日々、感染予防対策をしながら在宅生活を支えよう！と感染予防に取り組んでいます。

三密を避けるためにデイサービス、有料老人ホーム、看護小規模多機能「わたぼうし」ではテーブル間隔を開け、アクリルボードを設置して、こまめに換気や消毒など各部署で行っています。毎日続く緊張感の中、利用者さんご家族からねぎらいの言葉が添えられたお花が届きました。職員は励まされ、また、頑張ろうと思いました。

感染予防に気をつけています

利用者さんが作った「うちわ」

利用者さんのご家族からの手紙

最近デイサービスでは、「コロナも吹き飛ばせ！」とばかりに利用者さん方がうちわを作成しました。

これからも、コロナを吹き飛ばせるよう感染予防策を徹底して利用者さんをお迎えし、訪問して頑張っていきたいと思います。

ひまわり　施設長　中田　昌子

ぽぷら

ぽぷらデイサービスでは新型コロナウイルス感染症対策でテーブルに対面席間仕切りパーテーションを設置し、利用者様にマスクを着用してもらっていますが、食事時やお茶を飲む時にはずしたマスクの置き場がなく、よく紛失していました。そこで間仕切りパーテーションにマスクホルダーを利用者様ごとに用意するようにしました。新聞広告で作ってあり、使い捨てのため衛生的です。

マスクホルダーの効果は大きく、マスクが紛失することが少なくなりました。

ぽぷら　施設長　大塚　剛

チラシ広告を再利用した“マスクホルダー”付アクリルボード

ウィズコロナ禍での健康づくりを

健康チャレンジャーのおすすめ

新型コロナウイルス感染が広がる中、家にいる時間が長くなります。フレイル予防にもなりストレス解消もできる健康づくりに取り組みましょう。

さあーあなたも60日間（回）
健康チャレンジャーに取り組もう

＊チャレンジ修了者の中から抽選で記念品がもらえます。

健康チャレンジャーの魅力

❶家にひとりでいても気軽に取り組めること。
❷記録することにより意識づくりができ継続してできること。
❸自分の好きな健康づくりコースを選べ楽しくできること。

チャレンジ参加希望の方は左記へご連絡ください。
富山医療生協組織部
☎076-441-8351

行事中止のお知らせ

秋に予定をしておりました、富山協立病院まつり、富山診療所健康まつり、水橋健康まつりは、新型コロナ感染拡大防止のため中止となりましたのでお知らせいたします。

班会活動実施の感染対策についてのお願い

班会参加前

体温を測定し、咳や倦怠感など風邪症状がないか体調確認してください。症状がある場合は班会への参加を控えてもらうようにお願いいたします。

班会実施中

- 班会会場に着いたら、まず石鹸で手洗いを行う。
- 参加者それぞれの間隔を、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- マスクを着用する。
- 真正面に座ることを避ける。
- クーラー稼働中でも数分程度の換気を1時間に2回行う。
- 熱中症対策のために、こまめに水分は補給する。

大腸がん班会のおすすめ

「捨てるうんちで拾う〝いのち〟大腸がんでなくなる組合員をなくそう」をスローガンに取り組まれた地域班での大腸がん検診班会。富山市の受診券を持っておられる組合員の方は「自己負担なし」（無料）で検診できます。新型コロナウイルス感染予防をしながら三支部十四名参加で取り組まれています（8／12現在）。「病院まで行かなくても検診できるのがいい」「身近で知り合いと一緒に検診受けられるので安心」などの声が寄せられています。

検診班会では①大腸がんのミニ学習をします。どんな病気なのかや予防法など話し合います。②受診券を班会に持ってきてもらい、大腸がん問診票の記入の仕方と容器で便の取り方など学びます。③医療機関に届ける方法について話し合います。

とよた南支部では、健康診断を受けようと話し合い、地域でできる「大腸がん検診班会」に取り組みました。最初に大腸がんのミニ学習会を行いました。大腸がんが増えている理由やどんな病気なのか、また予防について話を聞きました。参加者からは、大腸内視鏡検査をしたときの体験談などが話しされ、和やかに懇談しました。

毎年便潜血検査を受けられたベテランの方の話。「検査を受けないとわからない病気はたくさんある。検査を受けるのがめんどくさいというかたもいるが、しっかり検診を受け、自分の身体の状態を知ることが健康づくりにつながる」との感想もありました。班ではより多くの組合員に検診を受けるように呼び掛けていきます。